

研究名：卵丘細胞-卵子複合体の成熟分類による生殖補助医療への有用性

1．研究の目的

現在、生殖補助医療を行うに当たり採卵時には採取できた卵子をその周囲の細胞と共に成熟度による分類を行っています。成熟度によっては受精や初期発生が正しく進み、妊娠に至りやすい卵子が採取できる可能性があります。本研究では、この成熟度により患者様の妊娠しやすい卵子をより確実に分別できるように検討を進め、今後の生殖補助医療の発展に結び付けたいと考えています。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2014年1月1日～204821年3月31日までに生殖補助医療を受けた方

研究期間：倫理審査委員会承認後～ 202424年3月

研究方法：当院で行われた生殖補助医療の記録を用い、採卵時に通常分類されている個々の卵子(卵丘細胞-卵子複合体)の受精・初期発生・胚盤胞到達・移植利用・凍結(融解)利用歴から妊娠・出産に至るまでを網羅的に解析いたします。

3．研究に用いる情報の種類

匿名化された状態での患者さんご夫婦の年齢・不妊原因・治療歴・検査値ならびに、採卵所見・精子所見・受精・凍結・胚移植等の生殖補助医療の記録、さらに妊娠・出産・出産した赤ちゃんの状態の記録 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

学会や論文で発表する可能性があります。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、201821年63月3031日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 不妊診療科 齊藤英和隆和

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内 70527038）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 不妊診療科 石田恵理